



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年7月2日

上場会社名 株式会社CFSコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8229 URL http://www.cfs-corp.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 雄二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上田 晃一 TEL 045 (476) 7474
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	30,643	6.1	619	55.8	645	50.4	284	27.8
26年2月期第1四半期	28,876	—	397	—	429	—	222	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	8.21	8.20
26年2月期第1四半期	6.42	6.42

(注) 当社は平成25年2月期より決算日を2月20日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、26年2月期第1四半期（3月1日から5月31日）と、比較対象となる25年2月期第1四半期（2月21日から5月20日）の期間が異なるため、26年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	45,283	20,752	45.8	598.03
26年2月期	45,745	20,596	45.0	593.71

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 20,733百万円 26年2月期 20,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期（予想）	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	60,000	1.4	900	23.8	950	18.7	400	75.7	11.54
通期	120,000	2.1	2,500	7.5	2,600	1.8	500	19.1	14.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期1Q	34,689,678株	26年2月期	34,687,678株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	20,917株	26年2月期	20,917株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期1Q	34,668,413株	26年2月期1Q	34,663,801株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他に関連する事項については、添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるドラッグストア業界は、消費税の増税前の駆け込み需要と増税後におけるその反動への対応に各社が注力するなかで、薬価改定や診療報酬改定への対応も伴い、顧客獲得へ向けた厳しい競争が展開されました。

このような状況のなか、2015年2月期から2017年2月期を対象とする中期3ヵ年経営計画をスタートさせ、最終年度において経常利益率4%を目指すものと致しました。その初年度として、既存店の営業力の強化へ向け、2013年度下期よりポイント施策・チラシ施策の創設や季節・社会行事に対応したきめ細かな売場提案に取り組みました。また、食品売場の拡充を柱とし効率的に Gondola 配置を変えること等で実質増床となる活性化改装を行い、売上の底上げを図りました。一方、成長の柱となる250坪の標準型店舗フォーマットを確立するため、その実験店を4月にオープンし検証を進めております。

当第1四半期累計期間における売上高は、消費税増税前の駆け込み需要への対応が奏功、またその反動への影響を最小限に抑えることにより、既存店前期比5.7%増と大幅な伸びとなりました。また調剤部門の売上高が前期比8.3%増と引き続き順調に推移しました。この結果、売上総利益は、薬価改定や診療報酬の改定に伴う荒利益率の低下を吸収したこと等で4.3%増となりました。一方、販売費および一般管理費は、働き方改革による労働生産性の向上により人件費のコントロールを図ったものの、積極的に販売攻勢を進めたことにより1.8%の増となりました。

店舗については、「辻堂新町店」(神奈川県藤沢市)や「熱海中央店」(静岡県熱海市)等4店舗を出店するとともに、「藤が丘駅前店」(横浜市青葉区)をはじめとする大型改装に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は306億43百万円(前年同期比6.1%増)となり、営業利益は6億19百万円(同55.8%増)、経常利益は6億45百万円(同50.4%増)、四半期純利益は2億84百万円(同27.8%増)とそれぞれ大幅な改善となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して4億62百万円減少し、452億83百万円となりました。これは、新規出店・改装等により有形固定資産が1億32百万円増加しているものの、商品が3億11百万円、流動資産その他に含まれている未収入金が減少したこと等によるものです。

負債は、前事業年度末と比較して6億18百万円減少し、245億31百万円となりました。これは、買掛金が6億20百万円、賞与引当金が3億20百万円増加したものの、短期借入金が12億円、未払法人税等が2億87百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末と比較して1億55百万円増加し、207億52百万円となりました。これは、主に利益剰余金が1億45百万円増加したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前事業年度末から0.8ポイント上昇し45.8%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月8日に発表しました平成27年2月期の業績予想について変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,233	2,302
売掛金	2,602	2,550
商品	13,350	13,038
その他	6,217	6,048
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	24,403	23,939
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,704	13,866
減価償却累計額	△8,662	△8,801
建物(純額)	5,041	5,064
土地	2,353	2,353
その他	7,781	7,976
減価償却累計額	△5,065	△5,150
その他(純額)	2,716	2,825
有形固定資産合計	10,111	10,243
無形固定資産	672	651
投資その他の資産		
差入保証金	8,495	8,383
その他	2,101	2,104
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	10,557	10,448
固定資産合計	21,342	21,344
資産合計	45,745	45,283

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,609	12,230
短期借入金	1,600	400
1年内返済予定の長期借入金	1,532	1,532
未払法人税等	577	289
賞与引当金	477	797
ポイント引当金	1,354	1,399
その他	3,176	3,266
流動負債合計	20,327	19,914
固定負債		
長期借入金	2,136	2,120
資産除去債務	1,001	1,009
その他	1,684	1,487
固定負債合計	4,821	4,616
負債合計	25,149	24,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,093	7,093
資本剰余金	6,378	6,378
利益剰余金	7,035	7,181
自己株式	△13	△13
株主資本合計	20,493	20,639
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88	93
評価・換算差額等合計	88	93
新株予約権	14	19
純資産合計	20,596	20,752
負債純資産合計	45,745	45,283

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	28,876	30,643
売上原価	20,372	21,773
売上総利益	8,504	8,870
販売費及び一般管理費	8,106	8,250
営業利益	397	619
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	0	0
固定資産受贈益	25	18
その他	19	10
営業外収益合計	53	37
営業外費用		
支払利息	14	11
その他	8	0
営業外費用合計	22	11
経常利益	429	645
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	9	48
その他	—	51
特別損失合計	9	100
税引前四半期純利益	419	544
法人税、住民税及び事業税	203	254
法人税等調整額	△6	6
法人税等合計	197	260
四半期純利益	222	284

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。